

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1998年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫（3,650,000円）、県費（1,825,000円）の補助金の交付を受け、平成10年4月3日から平成11年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調 査 主 体 者	大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担 当 課	生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教 育 長	遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
生涯学習課長	仲野政男	大井町臨時職員・発掘調査補助員	土本医
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執 筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、高橋けい子、丹治つや子、山口妙子
 石器実測：石原聡、高橋けい子 土器拓影：石垣ゆき子、植田勢津子、高橋けい子、山口妙子
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜枝、須藤さち子、 表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、須藤さち子、高橋けい子、中田藤子、山口妙子、丹治つや子
 遺構写真：坪田幹男・高崎直成・鍋島直久・土本医 遺物写真：高崎直成
 土器・石器実測の一部を（有）文化財COMに委託した。
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
 会田昭明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、内田賢司、岡田憲治、小澤千恵子、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、（有）文化財COM。
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉（敬称略）
 新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、石原聡、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代
 〈整理作業参加者〉（敬称略）
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 銭 1:1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山（ローム）  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器実測図における screen-tone の指示。
 地文縄文  撚糸文 
 - (5) 土器断面図は、「」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1998年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺 跡 名	申 請 地	面積 (㎡)	原 因	試 掘 期 間	調 査 措 置
1	江川南遺跡第9地点	東久保1街区2・3画地	875	共同住宅	10.10.9	試掘
2	江川東遺跡第5地点	東久保1-155-6	164	土地分譲	10.6.1～10.6.9	試掘
3	亀久保堀跡遺跡第7地点	東久保32街区7画地	165	砂利敷駐車場	10.11.16	試掘
4	亀久保堀跡遺跡第11地点	東久保2街区12画地	151	個人住宅	10.4.8～10.4.22	試掘
5	亀久保堀跡遺跡第12地点	東久保258-46	123	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
6	亀久保堀跡遺跡第13地点	東久保5街区11・12画地	107	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
7	亀久保堀跡遺跡第14地点	東久保2街区11画地	132	個人住宅	10.4.8～10.4.22	試掘
8	亀久保堀跡遺跡第15地点	東久保7-2街区4・5画地	111	個人住宅	10.5.8～10.5.21	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第16地点	東久保5街区18・19画地	117	個人住宅	10.6.1	試掘
10	亀久保堀跡遺跡第18地点	東久保7-2街区1・2・7～9画地	908	個人住宅4軒分	10.11.5～10.11.30	試掘
11	亀久保堀跡遺跡第19地点	東久保4街区11・12画地	99	個人住宅	10.11.5～10.11.10	試掘
12	亀久保堀跡遺跡第20地点	東久保8街区5画地	185	個人住宅	10.11.24	試掘
13	東久保西遺跡第4地点	東久保10街区1画地	298	砂利敷駐車場	10.12.2	試掘
14	東久保西遺跡第5地点	東久保9街区9画地	194	個人住宅	10.12.14	試掘
15	東久保西遺跡第6地点	東久保12街区1・2・10画地	1,959	店舗	11.2.9～11.2.15 (11.2.24～11.3.1)	試掘後遺跡調査会で本調査
16	東中学校西遺跡第13地点	東久保2街区12画地	218	専用住宅	10.6.9～10.6.11	試掘
17	東中学校西遺跡第14地点	東久保44街区11・20・26画地	1,231	共同住宅	10.6.23～10.6.26	試掘
18	東中学校西遺跡第15地点	東久保45街区1・4・6画地	2,649	店舗専用駐車場	10.8.24	試掘
19	東中学校西遺跡第16地点	東久保42街区6画地	1,347	店舗専用駐車場	10.8.19～10.8.31	試掘
20	東中学校西遺跡第17地点	東久保38街区7・8画地	1,131	店舗専用駐車場	10.8.24	試掘
21	東中学校西遺跡第18地点	亀久保319-1	850	テニスコート	11.2.15～11.2.17	試掘
22	東中学校西遺跡第19地点	東久保52街区8画地	944	アスファルト駐車場	11.3.17	試掘
23	東久保南遺跡第14地点	東久保63街区2画地	333	個人住宅	10.6.25～10.7.1	試掘
24	東久保南遺跡第15地点	東久保60街区6画地	143	個人住宅	10.7.8～10.7.9	試掘
25	東久保南遺跡第16地点	東久保59街区3画地	541	共同住宅	10.12.14	試掘
26	東久保南遺跡第17地点	東久保46街区9・10・17画地	1,264	自動車ショールーム	11.2.2～11.2.3	試掘
27	西ノ原遺跡第110地点	苗間146-2	385	郵便局	10.4.20～10.5.28	試掘
28	西ノ原遺跡第111地点	大井苗間23街区9画地	354	個人住宅	10.10.23～10.10.27	試掘
29	西ノ原遺跡第112地点	大井苗間23街区9画地	144	個人住宅	11.2.9	試掘
30	中沢前遺跡第15地点	大井苗間34街区1画地	109	個人住宅	10.7.13	試掘
31	中沢前遺跡第16地点	大井苗間30街区6.7画地	482	共同住宅	11.3.12～11.3.15	試掘
32	中沢前遺跡第17地点	大井苗間32街区2画地	165	個人住宅	11.3.12～11.3.15	試掘
33	神明後遺跡第7地点	苗間260	1,460	個人住宅	10.6.1～10.6.2	試掘
34	神明後遺跡第8地点	苗間235-1	458	共同住宅	10.7.21～10.7.24	試掘
35	神明後遺跡第9地点	苗間310-1	219	共同住宅兼自家用車庫	10.9.1～10.9.11 (10.9.14～10.10.15)	教育委員会で 本調査

IV 亀久保堀跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は福岡江川とさかい川との間の標高19～21mの低位台地に位置する。現在は区画整理事業により遺跡周辺の起伏は無くなりつつあるが、以前は僅かに埋没谷や窪地がみられた。周辺は区画整理事業と大規模開発により急激に変貌している。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、北西側に江川南遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

本遺跡は1991年江川南遺跡第2地点で堀状の遺構が初めて確認された事に由来する。その後、江川南遺跡縁辺部の調査でも堀跡の続きが確認されたため、遺跡の変更増補を行い、1998年に亀久保堀跡遺跡として新たに遺跡の範囲と遺跡名を設けた。

これまでの調査から堀は、福岡江川付近から南下し、地藏院の東約80m付近で南東に向きを変え、約600m以上直線で延びる。堀の規模は上幅約3m、底幅約1.5m、深さは地表面から約1m、長さは600m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが、出土遺物は無く、時代などは不明である。本遺跡に隣接する地藏院は、南北朝期の二階堂氏との関係から氏の館跡との想定もされており、堀跡との関係などが今後の課題であろう。

亀久保堀跡遺跡の範囲からは、縄文時代の落とし穴や近世の溝跡などが新たに確認されている。

本遺跡では2000年3月現在、24ヶ所で調査が行われている。



第7図 亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 8 図 亀久保堀跡遺跡の調査区と遺構分布図 (1/3,000)

2 亀久保堀跡遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場拡張に伴うもので、原因者から1998年11月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。調査区は前年度本調査個所の隣地で、申請者も同じため、同一地点として調査した。

今回の調査区は堀状遺構の延長部分にあたり、堀状部分の4×5mの範囲と、堀に直交する場所に1.5m幅のトレンチを1本設定し、11月12日から重機による表土除去後、人力により堀状遺構の調査を行い、11月16日調査を終了した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

3 亀久保堀跡遺跡第11地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1997年12月26日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。周辺部の調査から遺構の存在が確実なため申請者と協議の結果、本調査を実施することとした。1998年4月8日から重機による表土除去の後、人力による調査を行い、亀久保堀跡の続きを検出し4月22日に調査を終了した。

堀跡の断面は箱状を呈し、底はほぼ平坦、立ち上がりも垂直に近い。検出部の規模は長さ14.2m、上幅2.91～3.15m、下幅1.60～1.95m、深さは確認面から1.34mを測る。

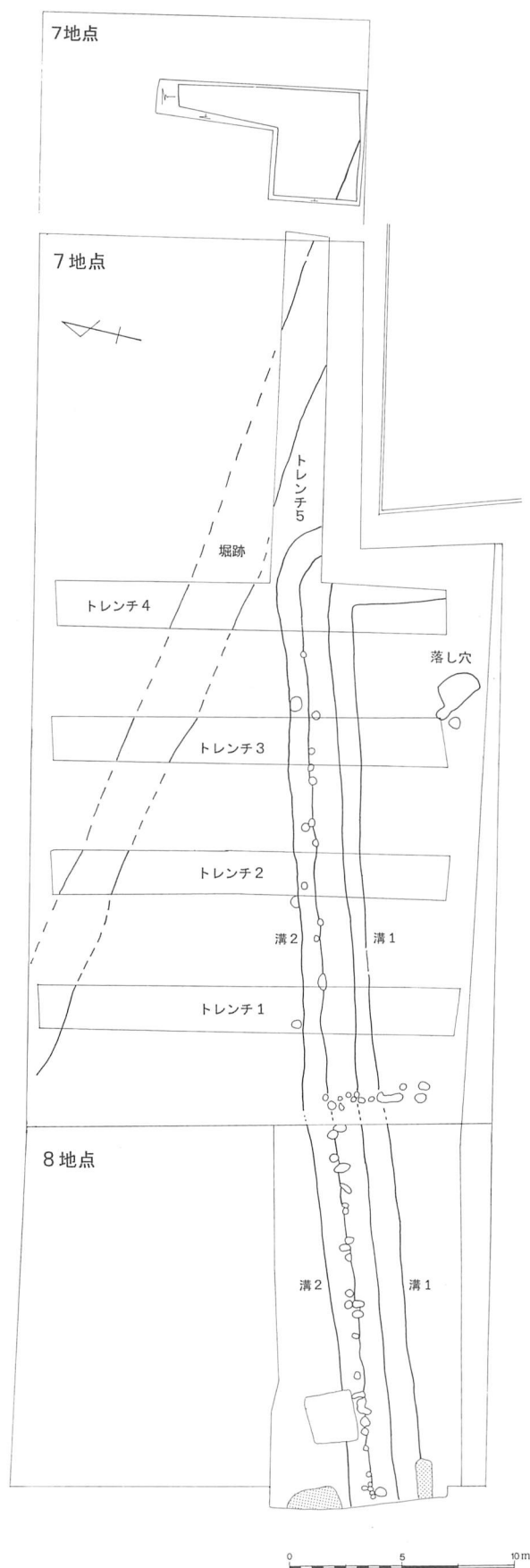
4 亀久保堀跡遺跡第12地点

(1) 調査の概要

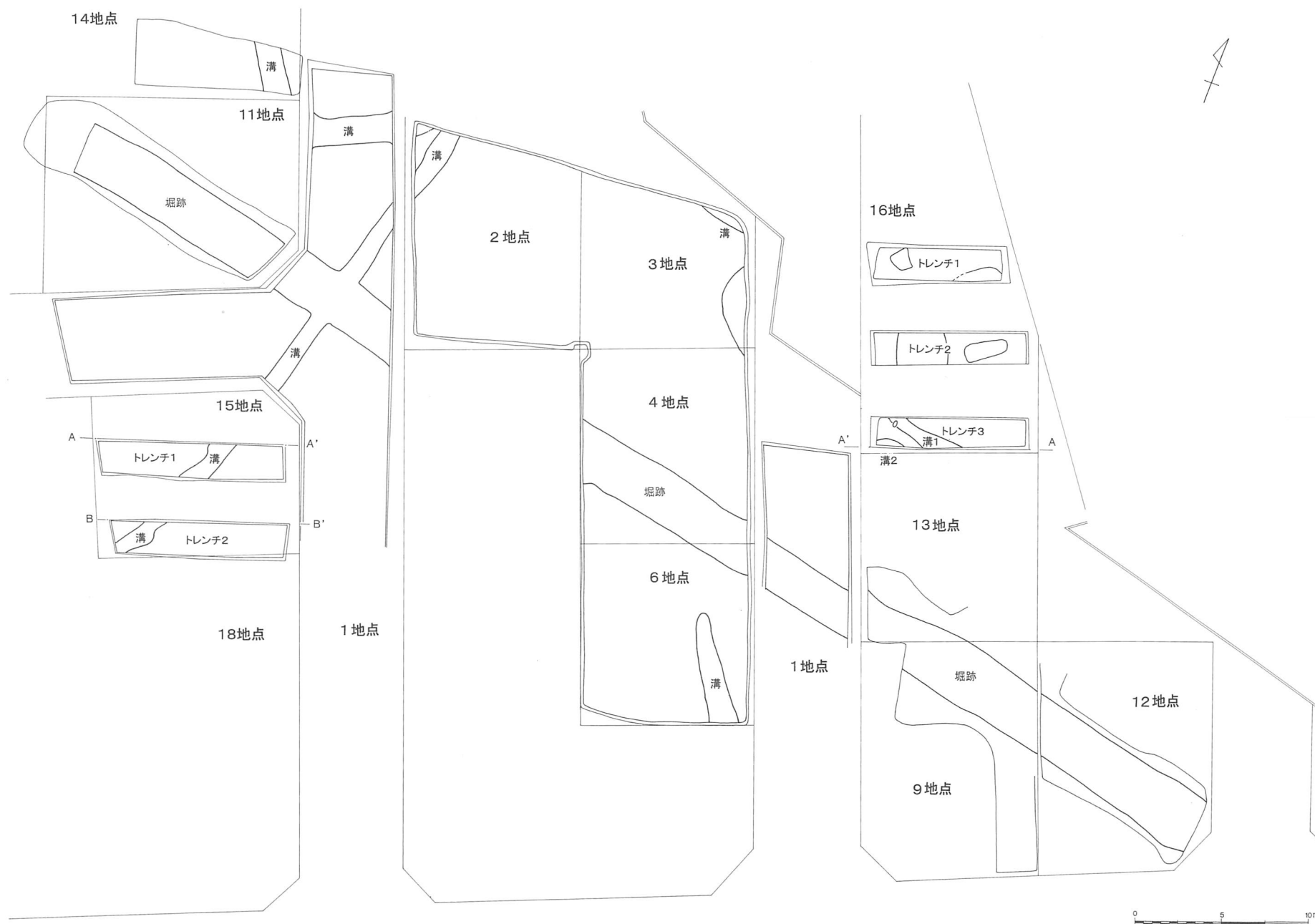
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1998年4月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲に位置するため申請者と協議の結果、遺構の存在確認の試掘調査を実施することとした。調査は本地点と第13・15地点を合わせて行った。

調査は5月8日から重機による表土除去の後、人力による調査を行った結果、亀久保堀跡の続きを検出し5月21日に調査を終了した。

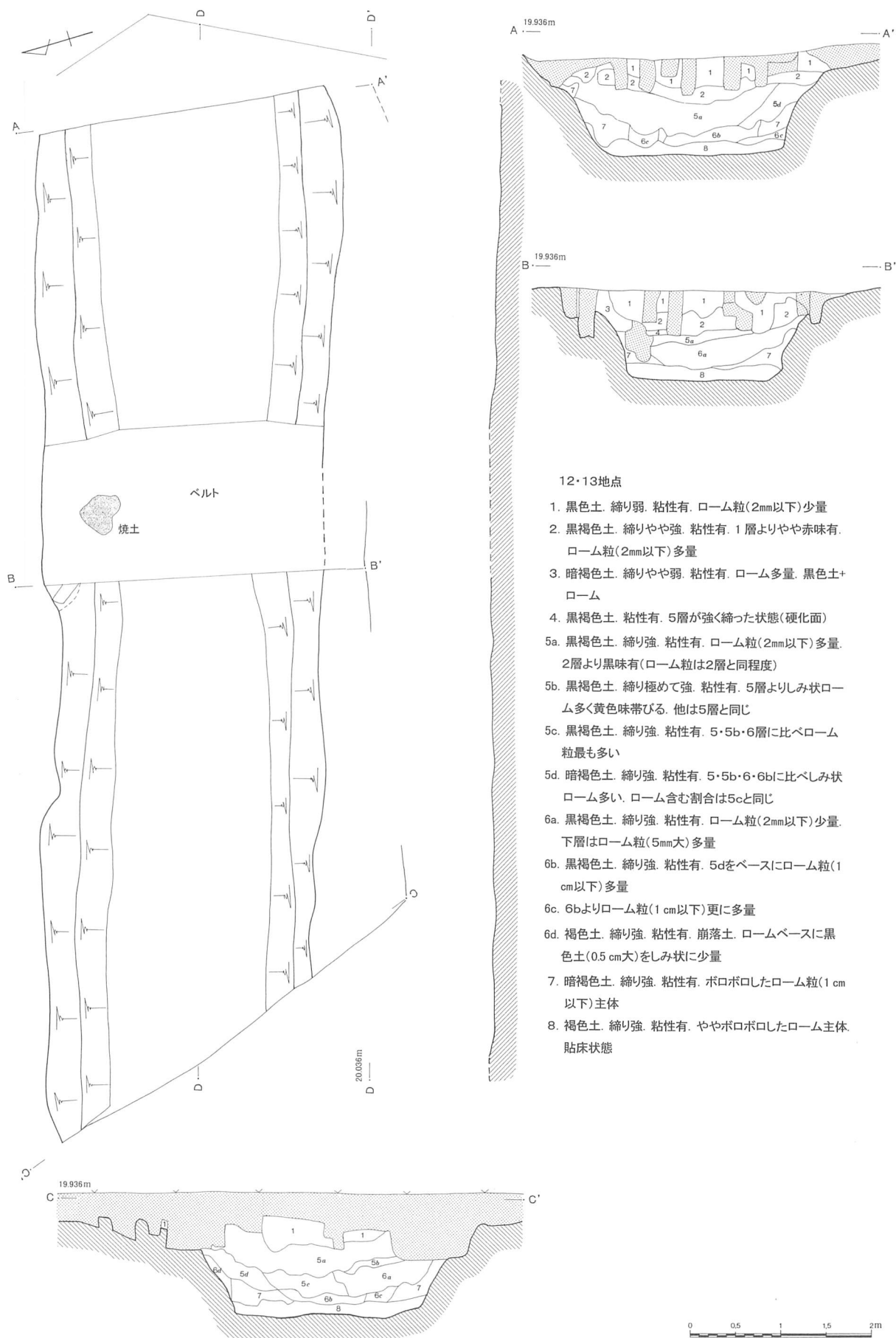
堀跡の断面は箱状を呈し、底はほぼ平坦、立ち上がりも垂直に近い。検出部の規模は長さ11.2m、上幅2.84～3.40m、下幅1.45～2.02m、深さは確認面から1.05mを測る。覆土の中層から上層にかけ3mm以下の焼土



第9図 亀久保堀跡遺跡第7地点遺構配置図 (1/300)



第 10 図 亀久保堀跡遺跡第 11～16 地点遺構配置図 (1/300)



第12図 亀久保堀跡遺跡第12地点掘跡 (1/60)



江川南遺跡第9地点 調査区全景



江川東遺跡第5地点 調査区全景



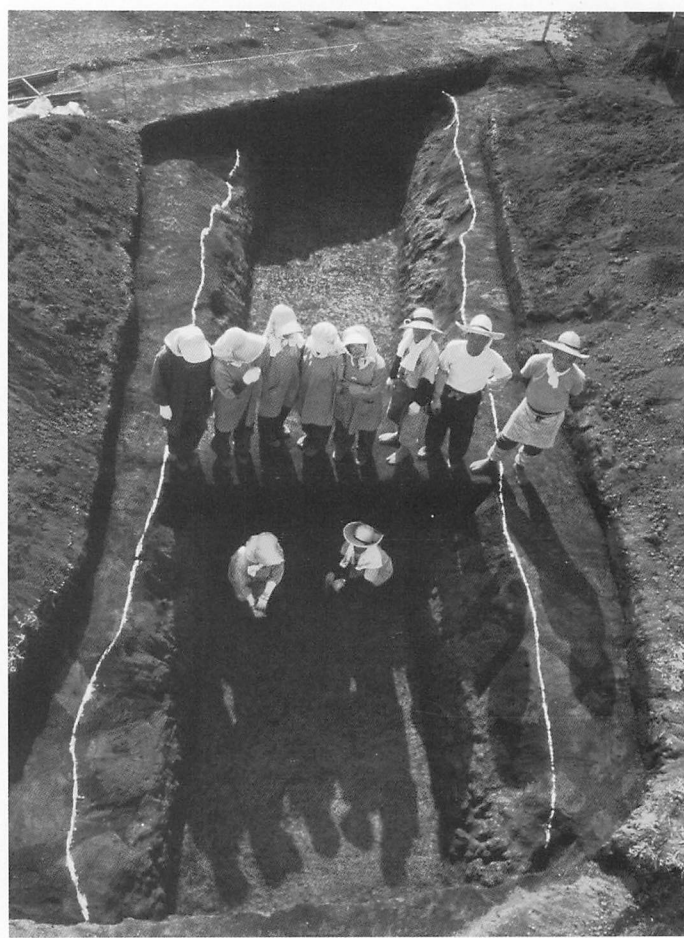
亀久保堀跡遺跡第7地点 堀跡



亀久保堀跡遺跡第12地点 堀跡土層



亀久保堀跡遺跡第11地点 堀跡



亀久保堀跡遺跡第12地点 堀跡